

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38153
事業名	保育所等ICT化推進補助金					
評価担当課	所属名	子)子育て支援 施設運営課				
	課長名	大木 麻美	担当者名	堀内 一生	電話番号	011-211-2986
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	負担となっている保育以外の業務についてシステムや翻訳機を導入し、保育士の業務負担の軽減を図るとともに、保育所等における事故の予防を図る。			
		長期	保育人材の確保及び保育所等における事故の予防。			
	取組内容	①保育に関する計画・記録や保護者との連絡、子どもの登降園管理等の業務のICT化を行うために必要なシステムの導入費用の一部の補助を行う。 ②外国人の子どもの保護者とのやりとりに係る通訳や、翻訳のための機器の購入に係る費用の一部の補助を行う。 ③事故防止のために必要な機器の導入費用の一部の補助を行う。				
	実施結果	※ICT化推進事業 18施設から申請があり、全18施設で実施 ※翻訳機等導入推進事業 14施設から申請があり、全14施設で実施 ※事故防止推進事業 20施設から申請があり、全20施設で実施				
事業実施における工夫点	当該補助金は厚労省の補助金を活用しているが、例年国補助要綱の発出を待っている、施設の申請期間が短いという課題がある。そのため施設に対して、正式に通知する前に当該補助金について情報提供することによって、施設の申請期間を確保している。					
対象者	各保育園等	開始	平成28年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市認可保育所等における翻訳機等導入推進事業補助金交付要綱、事故防止推進事業補助金交付要綱、ICT化推進事業補助金交付要綱					
他都市の状況	主に厚生労働省の保育所等業務効率化推進事業予算を活用する本市と同様のスキームにより、複数の指定都市(仙台・千葉・川崎・横浜・神戸・岡山・福岡・熊本)が同事業を実施している。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	16,493	27,000	19,912	19,000	
うち特定財源	10,995	18,000	13,245	12,667	
人工	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費	0	0	0	0	
計(事業費+人件費)	16,493	27,000	19,912	19,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	【ICT化推進事業】全18施設で実施(補助額計12,791千円) 【事故防止推進事業】全20施設で実施(補助額計5,611千円) 【翻訳機等導入推進事業】全14施設で実施(補助額計893千円) ※その他:R2国補助の返還分 617千円			
	令和4年度予算	【ICT化推進事業】12,200千円(端数調整+72) R4未実施園231園×1,000千円(補助上限)×補助率3/4×R3実施率7% 【事故防止推進事業】5,300千円(端数調整▲32) R4未実施園474園×500千円(補助上限)×補助率3/4×R3実施率3% 【翻訳機等導入推進事業】1,500千円(端数調整+22) R4未実施園438園×150千円(補助上限)×補助率3/4×R3実施見込み率3%			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	補助実施件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	74	90	52	43
	指標名			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標1				
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	指標名			
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	補助を申請したすべての施設に対して補助金を交付できたため、達成できたと考える。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	事業の対象は国要綱に沿ったものであるため適切と考えられる。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	事業の実施手法は国要綱に沿ったものであるため適切と考えられる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	保育士の業務負担を感じている施設のニーズに応えられる事業となっていると考えられる。		
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	国の動向に左右される事業であり、施設に対していつ募集開始できるのか周知しづらい事業であるため、募集の時期について問い合わせが多数寄せられる。まだ募集できない段階であるとしても、一定の期間が経過した場合には情報を提供していきたい。			
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし	見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	補助を申請したすべての施設に対して補助金を交付できたため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 過去に本事業を利用した施設が補助の対象外となることや、新規開設に伴いICT機器等を整備済みであるために実施率が低下することは避けられないが、なお複数の施設がICT機器等の導入を希望しているため、今後も補助事業を実施していく。		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> その他 国の補助事業の動向による。		
		見直し効果額	0	千円